



年末手当交渉妥結

JR四国 組合員の努力を強く訴え 1. 83カ月分を獲得!

本部は、10月17日に「平成30年度年末手当の要求(申第7号)」を「準組合員(エキスパート社員)の年末一時金の要求(申第8号)」及び「準組合員(契約社員)の年末一時金の要求(申第9号)」を申し入れ、11月1日の主旨説明以降、要求の獲得に向け団体交渉

を重ねてきた。交渉では、今年7月の豪雨災害の影響により、今年度の中間期における鉄道運輸収入が会社発足以来最低となったことに加え、多額の復旧費用を要するなど、非常に厳しい経営状況にあることを強く受け止めつつも、「安全・安心輸送の確保」を第一義に災害の復旧対応や増収施策に日々奮闘してきた組合員の努力を強く訴えてきた。

その結果、11月21日の交渉において、JR四国労組の取り組みを最大限考慮した1. 83カ月分の回答を引き出し妥結した。(詳しくは、JR四国労組ニュースNo.11を参照)

ジェイアール四国バス 粘り強く交渉を重ね 2. 35カ月分を獲得!

本部は、10月17日に「平成30年度年末賞与の要求(申第10号)」及び「平成30年度年末手当の要求(申第11号)」を申し入れ、11月1日の主旨説明以降、要求の獲得に向け団体交渉

「準組合員(契約社員)の年末賞与の要求(申第11号)」を申し入れ、10月30日の主旨説明以降、要求の獲得に向け団体交渉を重ねてきた。今年度の上半期は台風に伴う運休が発生したものの、「安全・安心輸送の確保」を第一義に効率化施策等に取り組み組合員の努力を訴え粘り強く交渉した。

第5回本部執行委員会開催

11月30日(金) 15時30分より、「第5回本部執行委員会」が開催された。経過報告と議事については次のとおり。

- ・経過報告
- ・組織の強化拡大(経営協議会)
- ・中間決算(JR四国ジェイアール四国バス(団体交渉))
- ・平成30年度の年末手当・年末賞与(JR四国ジェイアール四国バス(青年女性会議))
- ・支部青女定期委員会(香川、愛媛、自動車)

- ・(レク)ゴルフ大会
- ・(政治)四国の鉄道を考える国会議員連絡会
- ・(共闘)四国交通労働定期総会(JR連合)
- ・産業政策委員会
- ・労働政策委員会
- ・新中期労働政策ビジョン策定PT
- ・組織財政検討委員会
- ・拡大代表者会議
- ・地方議員団連絡会総会
- ・議員フォーラム

- ・(議事)①平成30年度の年末手当
- ・②統一地方選挙候補者に対する推薦申請について
- ・③ダイヤ改正実施に伴う経営協議会の付議事項について
- ・④JR四国労組「新春セミナー」の開催について
- ・⑤JR四国労組「新春交歓会」の開催について
- ・出席者・招待者について
- ・特別功労者表彰について
- ・⑥JR四国労組「第32回定期本部委員会」の開催について
- ・⑦交運共済「共済担当者会議」の開催について
- ・⑧当面するスケジュールについて
- ・⑨その他
- ・JR連合第31回中央委員会の開催について
- ・分会大会の開催日程について
- ・第1回男女平等参画推進委員会の開催について
- ・次期(第6回)執行委員会の開催について
- ・その他

年末賞与の妥結承認について(JR四国ジェイアール四国バス)に対する推薦申請について

第16回「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」開催

JR四国の現状と課題について 意見を交わす!

JR四国労組は11月19日(月)、衆議院第二議員会館において、第16回「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」を開催した。

連絡会には加入する国会議員、JR連合・JR

四国労組役員並びに会社幹部ら総勢19名が出席し、冒頭、会長に小川衆議院議員、事務局長に玉木衆議院議員に就任頂くことを確認し議事に入った。

主催者を代表して中濱執行委員長は「今年度は「平成30年7月豪雨」や相次ぐ台風により被災するとともに、運休等により大幅な減収となるなど、その復旧費用も合わせ、多額の特別損失を計上することとなった。一方、「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会II」

このような状況を理解頂き、支援をお願いしたい」と訴えた。

続いて、JR連合の松岡会長から、災害復旧をはじめとする政策課題の解決に向けた取り組みや、JR連合を取り巻く情勢等について説明があった。

次に、JR四国の半井社長から「四国という地域をどうしていくのか。鉄道もインフラの一つとして、活用・維持していくために現状を認識頂き、課題の解決に向けてご尽力をお願いしたい」との挨拶があった。続いて、会社から7月の豪雨災害に伴う被災状況をはじめとするJR四国の現状、今後の経営課題及び収入確保に向けた取り組み等について説明を受けた後、交換が行われた。

「分会大会」が順次開催されています。

分会では、職場における問題点を中心に「安全・安定・安心輸送の確立」「組織の強化・拡大」「職場環境の改善」「政治・政策課題の解決」

「分会大会」は、JR四国労組の規約により、毎年、支部大会の終了後3カ月以内に開催することが定められています。



分会大会の様子

分会大会では、執行部から平成29年度の一般経過報告、決算報告、会計監査報告が行われ、その後、平成30年度運動方針



「被災者救援カンパ」のお礼

平成30年7月豪雨等を受けて実施した「被災者救援カンパ」に対し、JR四国労組及びグループ労組の組合員の多くの皆さまからご協力を頂きました。

皆さまからのカンパは、JR連合を通じ、被災された組合員の支援等に役立てられます。ありがとうございました。

要な役割を担っています。分会大会で決定した運動方針に沿って、組合員とのコミュニケーションを図り、組合員の悩み事や困り事を解決し、より良い職場づくりに取り組むことを要請します。

【コラム】分会大会は、JR四国労組の規約により、毎年、支部大会の終了後3カ月以内に開催することが定められています。

国土交通副大臣への 要請行動を実施!

JR連合は、2019年度税制改正要望の実現に向けて、中濱執行委員長をはじめとする各単組の代表者、並びにJR連合国会議員懇談会の榊葉会長、小川事務局長らとともに、11月29日(木)



に大塚国土交通副大臣への要請行動を実施した。要請にあたり榊葉会長は、平成30年7月豪雨や北海道胆振東部地震をはじめ、相次ぐ自然災害によりJRの各路線が甚大な被害を受けたことについて、9月の現地視察で目の当たりにした被災状況を説明するとともに、復旧に向けてJR関係労働者が一丸となって取り組んできたことを訴えた。

続いて、JR連合の松岡会長は、今回の災害における鉄道の復旧に際し、国土交通省が中心となり道路管

運休による減収は、新幹線がなく経営基盤が脆弱なJR四国の経営に与える影響が大きいことから、復旧支援に対する協力を強く求めた。

これらの要請に対し大塚副大臣からは、今回の要望事項である税制特例措置及び災害からの復旧支援については国土交通省としても重要であるとの認識のもと、各種政策の実現に取り組んでいる旨が述べられた。

JR四国労組は、今後も諸課題の解決や政策の実現に向けて、JR連合をはじめ「JR連合国会議員懇談会」「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」及び「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」との連携を強化し、組織を挙げて取り組んでいく。

各支部・分会において、復興支援商品を活用したレクが企画・開催されています。

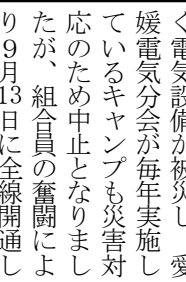
レク・サークルだより

各支部・分会において、復興支援商品を活用したレクが企画・開催されています。

愛媛支部

全線開通レクを開催！
愛媛電気分会では、10月20日(土) 道後温泉「ふなや」にて全線開通レク「お疲れ様でした云々」を開催しました。

7月の豪雨災害では多く電気設備が被災し、愛媛電気分会が毎年実施しているキャンプも災害対応のため中止となりましたが、組合員の奮闘により9月13日に全線開通し



四国交運労協 第30回定期総会開催

11月26日(月)、高知県高知市「三翠園」において「四国交運労協第30回定期総会」が開催された。

冒頭、四国交運労協を代表して挨拶に立った井上議長は、この一年間の取り組みと四国交運労協への協力に感謝を述べた後、働き方改革の動向や企業による不正・改ざんなど、現場で発生している事象に対して労働組合がチェック機能を発揮することの重要性を述べる

とともに、交通運輸産業における要員不足や相次ぐ自然災害からの復旧といった政策課題の解決には政治の力が必要であり、来年予定されている参議院議員選挙や統一地方選挙にしっかりと取り組んでいく決意を表した。

また、来賓として出席した中央交運労協の住野議長は、交通運輸産業における長時間労働、ライドシェア、クリームスキミングなどの諸課題に対し、交運労協としてしっかりと提言していくとの激励の挨拶を受けた。

その後、事務局より2017年度活動報告、決算報告・会計監査報告、2018年度活動方針(案)及び予算(案)が提起された。代議員からは、災害により大きな減収となったJR四国に対する支援や、AIに対する各業種の考え方、各地



域の協議会への積極的な参画等について質疑があり、執行部の答弁の後、満場一致で採択された。

また、2018年度役員選出では、嶋田副執行委員長が事務局長に、森安執行委員と弓立香川支部書記次長が幹事にそれぞれ再任された。

今後も愛媛電気分会では災害に負けず様々なレクを開催し、組合員の交流・団結を深め、誰もが楽しめる分会を目指します。

愛媛電気分会
今井 勇樹

徳島支部

「リカバリー10」増収ツアーを開催！
徳島運輸所分会では、徳島運輸所四国再発見委員会と協賛し、10月22日から31日にかけて計6日間、「リカバリー10 復興キャンペーン(あじな散歩道・大歩危ツアー)」を開催しました。

ツアーには総勢120名の組合員が参加し、相互に意見交換を図り交流を深めるとともに、日頃の疲れを癒すことができました。

今後も徳島運輸所分会では徳島運輸所四国再発見委員会との協賛による活動を企画し、分会活動に取り組みしていきます。

徳島運輸所分会
松下 陽尊



本社支部

復興増収ファミリールクを開催！
本社支部では、10月28日(日)「道後グランドホテル」にて、組合員相互の交流と復興増収を目的に「復興増収ファミリールクレーション」を開催し、8分会から組合員とその家族を含め総勢25名が参加しました。

当日は晴天のもと、会席料理や温泉を楽しみながら交流を深めました。参加者からは楽しかった、また家族で参加したいと

の声がありました。今後も多くの組合員や家族と一緒に参加しやすい行事を企画し、組織の強化・拡大に努めます。

本社支部
小川 有貴

「第32回定期本部委員会」の開催について

日時 平成31年2月8日(金) 13時より17時まで
場所 香川県宇多津町 「ホテルアネシス瀬戸大橋」

議題
(1) 定期大会以降の経過
(2) 2019春季生活闘争方針をはじめとする当面の活動方針
(3) その他



2019年「新春セミナー」及び「新春交歓会」の開催について

日時 平成31年1月12日(土) 11時より
場所 香川県宇多津町 「ホテルアネシス瀬戸大橋」

内容
11:00~12:00 「新春セミナー」
12:30~15:00 「新春交歓会」